

広島県経済の動向

令和4年7月15日
商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		
	4月	5月	6月
基調判断	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、持ち直しの動きがみられる	景気は、持ち直しの動きがみられる	
輸出	おおむね横ばいとなっている		
生産	持ち直しの動きがみられる		持ち直しの動きに足踏みがみられる
設備投資	持ち直しの動きがみられる		
雇用情勢	感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる	持ち直しの動きがみられる	
個人消費	このところ持ち直しの動きがみられる		持ち直しの動きがみられる
住宅建設	このところ弱含んでいる	おおむね横ばいとなっている	底堅い動きとなっている
企業収益	感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している		一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している

(2) 先行き

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和4年6月20日公表）】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		
	4月	5月	6月
基調判断	下押し圧力は残るものの、緩やかな持ち直し基調にある	下押し圧力は残るものの、緩やかに持ち直している	
輸出	持ち直している	供給制約の影響から、持ち直しが一服している	
生産	持ち直している	足もと供給制約の影響がみられているものの、全体としては持ち直している	
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	一部に改善の動きがみられるものの、全体としてはなお弱い動きが続いている		
個人消費	下押し圧力は残るものの、持ち直しの動きがみられている	下押し圧力は残るものの、持ち直しつつある	
住宅投資	横ばい圏内で推移している		

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症や供給制約などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和4年7月1日公表）】

II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和4年5月)

5月の鉄工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は84.9で, 前年同月比で11.2%減少, 前々年同月比26.5%増加となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

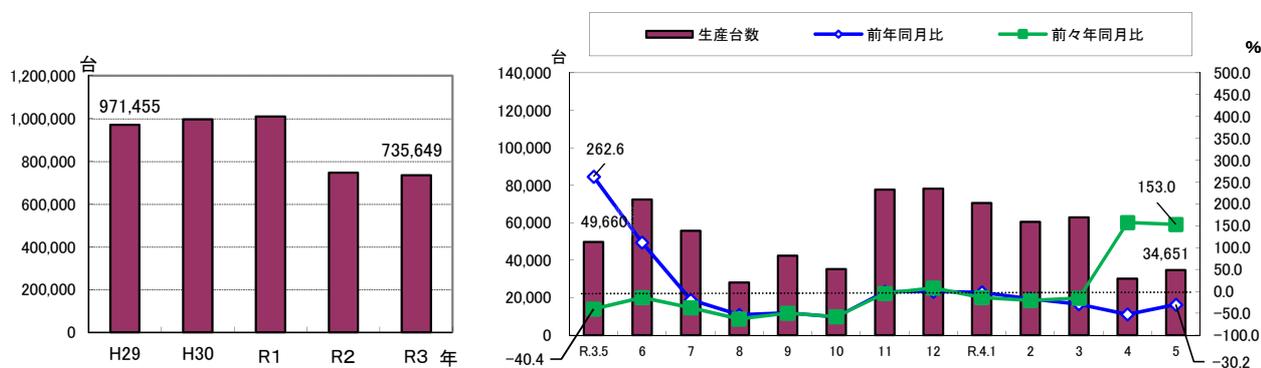


2 自動車(令和4年5月)

5月の国内生産台数は34,651台で, 前年同月比で30.2%減少, 前々年同月比153.0%増加となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

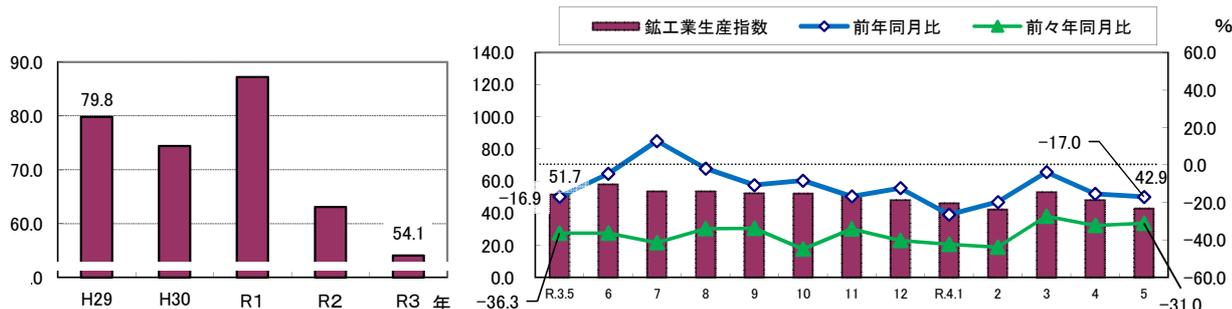


3 造船(令和4年5月)

5月の鉄工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は42.9で, 前年同月比で17.0%減少, 前々年同月比31.0%減少となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

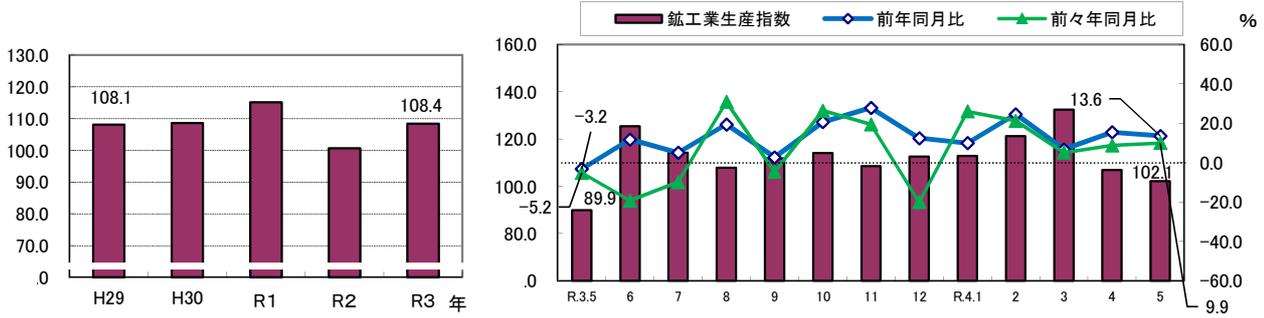


4 一般機械(令和4年5月)

5月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は102.1で, 前年同月比で13.6%増加, 前々年同月比9.9%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

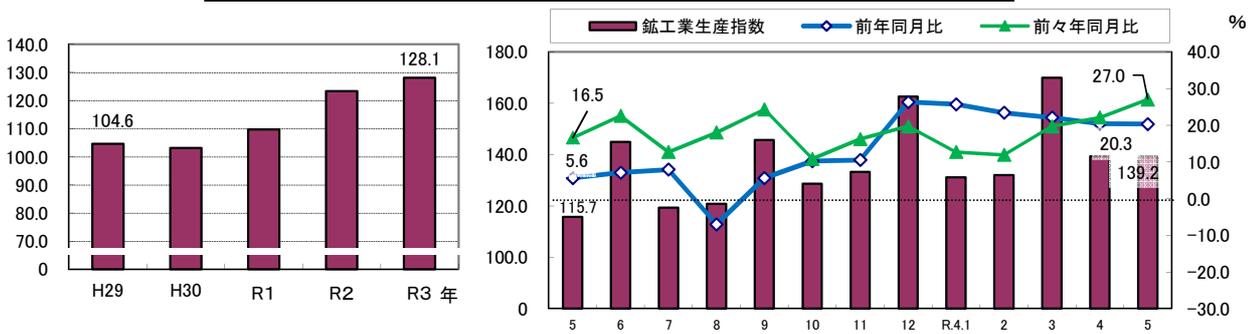


5 電気機械(令和4年5月)

5月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は139.2で, 前年同月比で20.3%増加, 前々年同月比27.0%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



Ⅲ 中小企業の動向(令和4年5月)

【広島県中小企業団体中央会（令和4年6月15日時点）】

1 概況

全体としては原材料等の価格高騰や物流停滞による部材等の調達難といった、様々な懸念事項に対して見通しの立たない苦しい状況が続いており、今後の需給動向をしっかりと注視していく必要がある。

また、自動車関連業種では、国内自動車販売台数は前年同月比18.1%減少と11ヶ月連続での前年割れとなり、マツダ車では同37.7%減少となった。さらに、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比42.4%減少で、9ヶ月連続の前年比減となった。

木材業界では、全国新設住宅着工戸数は前年同月比2.4%増加、広島県内の着工戸数は前年同月比40.2%増加となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「生産・販売状況について（速報）」に基づく

2 景況感・景況感の変化

業種	4月の景況感	5月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	普通	やや悪い
木材	普通	普通
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	悪い	悪い
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	やや悪い
金属製品	悪い	悪い

業種	4月の景況感	5月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	やや好況	普通
自動車部品	やや悪い	やや悪い
造船	やや悪い	やや悪い
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	4月	5月	増減
好況	0	0	0
やや好況	1	0	▲1
普通	4	4	0
やや悪い	12	13	1
悪い	3	3	0

3 前月(5月)から変化のあった主な業種

業種	4月の景況感	5月の景況感	変化の理由・状況
電気機械器具	やや好況	普通	<p>・ 3月～4月における増加の反動もあり，売上は前月比30%減少，前年同月比25%減少となった。中国上海市のロックダウンが長引いた影響で，日本国内メーカーからの受注も減少傾向にある。また，受注前の段階から，とりあえず部品を仕入れておくといった事態も発生している。</p> <p>【広島県東部機械金属工業協同組合】</p>
繊維・衣服	普通	やや悪い	<p>・ 人手不足，コロナ禍の影響で営業活動ができないのが問題。先月に比べて大きい変化はない。ただし，5月から技能実習生の入国が始まるなど，今後の生産向上に見通しがあるように思える。</p> <p>【山陽テクノ協同組合】</p>

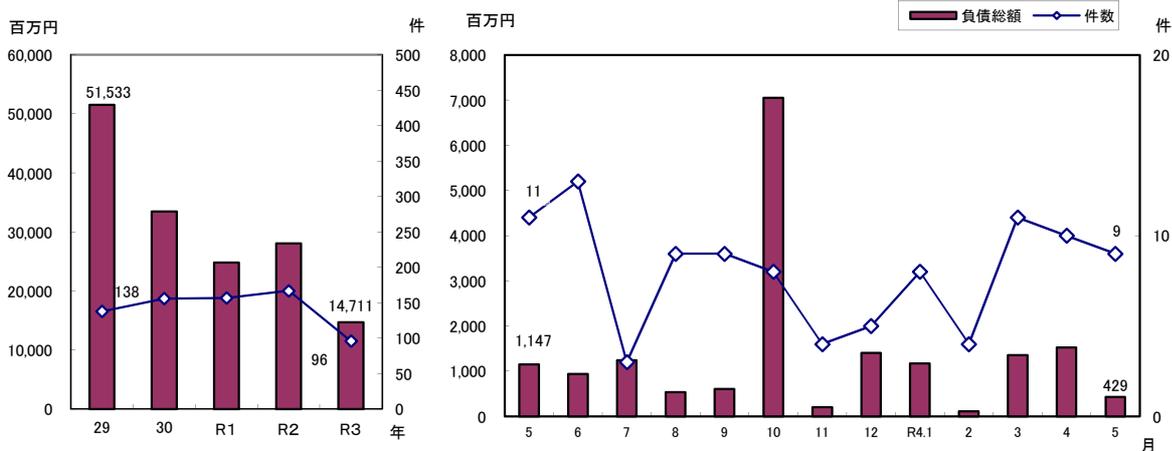
IV 企業倒産状況(令和4年5月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が9件、総額4億2,900万円であった。
- ・前月比で件数は1件減少し、負債総額は10億9,400万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は2件減少し、負債総額は7億1,800万円減少した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）の発生はなかった。

区 分	令和4年3月	令和4年4月	令和4年5月
件 数 (前年同月比)	11件 (37.5%増)	10件 (25.0%増)	9件 (18.2%減)
負債総額 (前年同月比)	1,353百万円 (660.1%増)	1,523百万円 (241.5%増)	429百万円 (62.6%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、建設業、サービス業が各3件、卸・小売・飲食業が2件、運輸・通信業が1件となった。負債総額では、サービス業、運輸・通信業、建設業、卸・小売・飲食業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が6件、シワ寄せ、売掛金回収難、その他が各1件であった。

4 今後の見通し

東京商工リサーチが4月1日～11日に実施した企業アンケートでは、6割以上の企業がコロナ前の売上水準には戻っておらず、7割以上の企業が原油・原材料の価格上昇を価格転嫁できていない。このようななか、原材料高が続いて6月からも値上げされる商品が多数あり、コスト上昇分の価格転嫁を進めているが、営業面の競争力が乏しい中小零細企業に於いては、価格上昇分を全て転嫁することは容易ではなく、さらなる収益の悪化が危惧される。また、長引くコロナ禍だけでなく、ロシアのウクライナ侵攻による不安定な世界情勢の影響も長期化しており、多くの企業が収益改善に苦戦していることが窺える。

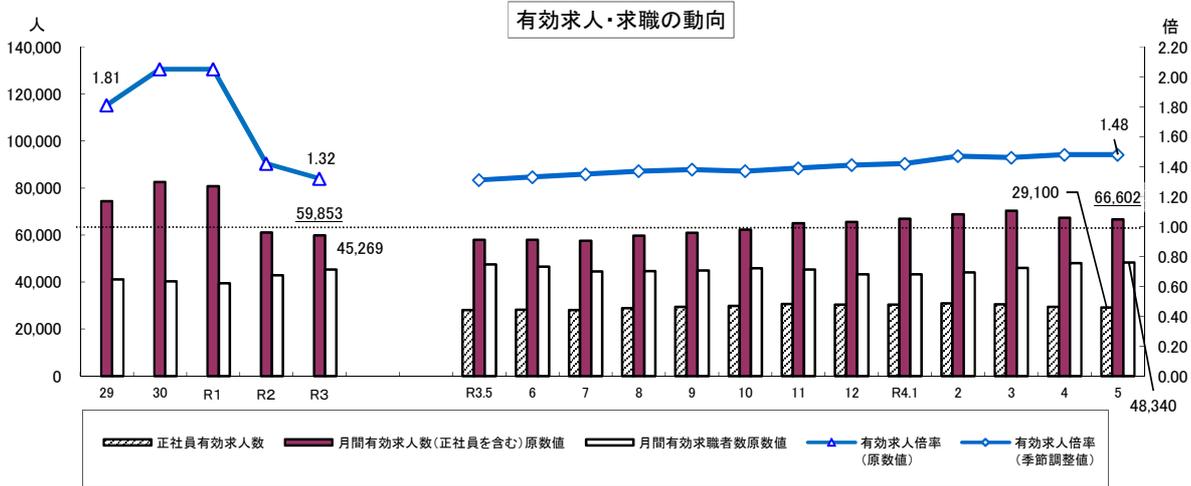
令和4年5月度の倒産件数は9件で、前年同月比で3ヶ月ぶりの減少となり、引き続き、新型コロナウイルス感染拡大以降の各種支援策の効果によって令和2年5月度以降25ヵ月連続20件以下と倒産は抑制された状態にある。しかし、前述の通り、長引く厳しい経済環境によって業績が悪化し、経営改善が進まない企業中心に息切れする先が増えてくることが予測され、倒産件数は増勢に転じていく可能性が高まっている。

V 最近の雇用失業情勢(令和4年5月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和4年3月	令和4年4月	令和4年5月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.46倍 (▲0.01ポイント)	1.48倍 (+0.02ポイント)	1.48倍 (±0ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.11倍 (▲0.06ポイント)	1.06倍 (+0.06ポイント)	1.05倍 (+0.03ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

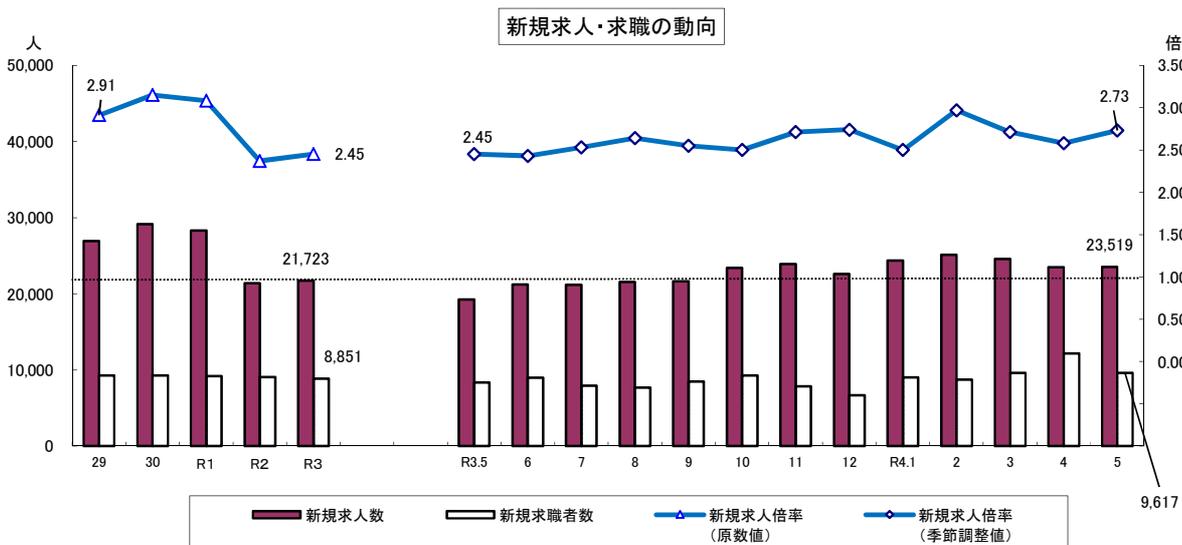
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和4年3月	令和4年4月	令和4年5月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.71倍 (▲0.26ポイント)	2.58倍 (▲0.13ポイント)	2.73倍 (+0.15ポイント)

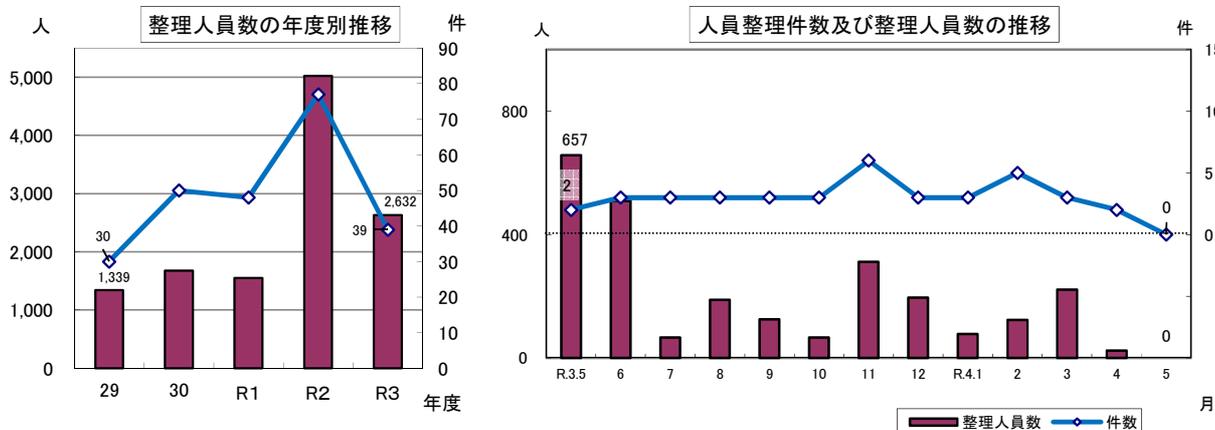
【広島労働局】



(注) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和4年3月	令和4年4月	令和4年5月
件数 (前年同月比)	3件 (▲ 5件)	2件 (+ 0件)	0件 (▲ 2件)
整理人員 (前年同月比)	221人 (▲ 220人)	24人 (▲ 68人)	0人 (▲ 657人)

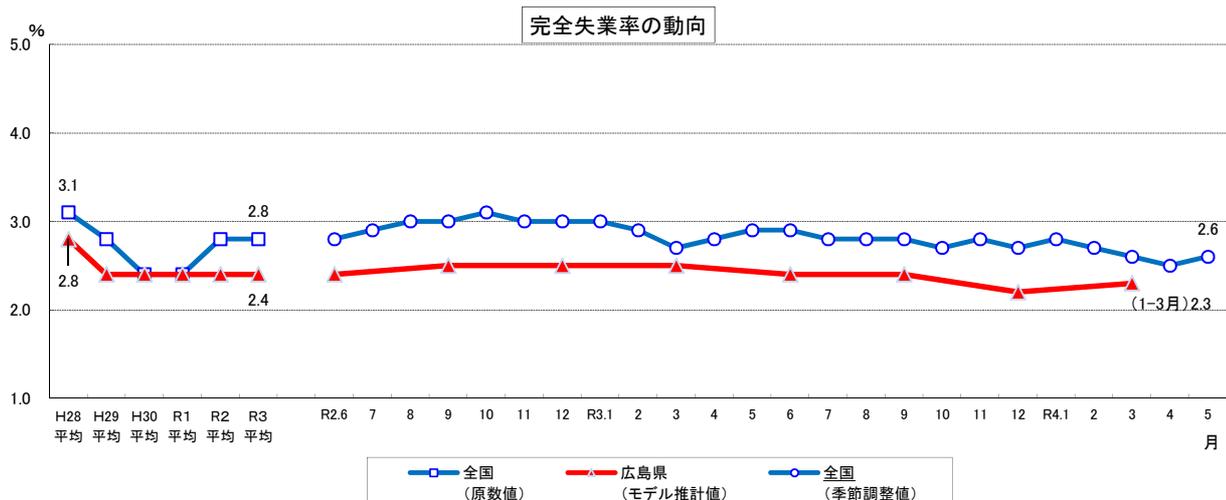


4 完全失業率の状況

区 分	令和4年3月	令和4年4月	令和4年5月
全国完全失業者数 (前年同月比)	180万人 (▲ 9万人)	188万人 (▲ 23万人)	191万人 (▲ 22万人)
全国完全失業率<季節調整値> (前月比)	2.6% (▲0.1ポイント)	2.5% (▲0.1ポイント)	2.6% (+0.1ポイント)

区 分	令和3年		令和4年
	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
広島県完全失業率 <モデル推計値> (前年同期比)	2.4% (▲0.1ポイント)	2.2% (▲0.3ポイント)	2.3% (▲0.2ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。